



基礎学習②お店ってどんなところ？

商業はもともと物々交換から始まりました。

物々交換だと、物を交換する者同士、自分が相手の欲しいものを持っていないと成立しなかった。そんなときに物々交換が成立する相手を探すのはたいへんな為、人々は工夫し、いろいろな貨幣を流通させ品物やサービスと交換していき、現在のように、お金が使われるようになったということを学習しました。

「あなたは、おやつをもって遠足に来ています。友達のおやつが欲しい時、手に入れるためにどうしたらいいか。」にという分かりやすい例に当てはめて、お客さんに喜んで貰うためにはどんなお店にするのが良いかを考えました。

そのターゲットをだれにするかによって、お店の場所、流行などを考えて工夫しながら、お店を作っていくという流れを学習しました。



おかねとおみせのかかわり

お店をするためには、仕入れをしたり、設備や場所が必要です。お店を維持するためには、家と同じように電気代、水道代、ガス代、家賃を払わなくてはなりません。お店を始める時や、お金がかかるときなど、銀行ではお金を借りたり預けたりすることができるため、おみせにとって銀行は大切な存在です。お金を借りるために銀行に行き、銀行はそのお店がちゃんとお金を返してくれるかを調べて

(審査)、それに合格するとお金を借りることができることなど、次回の銀行体験に向けて少し難しい内容にも触れ学ぶことができました。難しいクイズも、ちゃんと考えて積極的に答えていました。実際にお金を見てみると発行先が日本銀行と分かるように、硬貨には日本国、お札には日本銀行券という文字が入っており、普段何気なく使っているお金のことも、知らないことがたくさんありました。指導員の米岡先生、大学生、ありがとうございました！



しっかり学習できました。



おつかれさまでした！





ひたちあきんど探検少年団第3回活動

お花屋さん体験 in

サルゥー
Flowers*balloons SALUD



2020.8.2 Sun



初めての体験活動は、日立市鹿島町のお花屋さん「SALUD」にお邪魔しました！😊SALUDの代表の平野さんがお花屋さんのお仕事についていろいろなことを教えてくださいました。

仕入れたお花はそのままお店には出すのではなく、お花の種類によってそれぞれ違う手入れの作業を行ってからやっと店頭に出せること。水揚げ、水切り、湯切り、など、それぞれのお花の種類や、お花の状態によって、手入れの方法も変わってくるといいます。他にもお花を綺麗な状態で保つための様々な工夫や苦労があり、それぞれのお花の特性と性格を知った上で、丁寧に細やかな手入れの作業の時間がとても大切になっていることがわかりました。廃棄がでないような仕入れを行うために、過去数年のデータを分析してどれくらい売れるのかを予測したり、前もってアレンジのお花のレシピを考え、離任式やパーティーの準備をしたり。少ない人数で対応しているため、大変なこともあるけれど、とても面白いお仕事だよと笑顔でお話しをしてくれました。実際にどのように仕入れているのかなどを具体的に説明してくださり、団員も指導員も興味深く感心している様子でした。最後は実際にお花のアレンジの体験をさせていただき平野さんのアドバイスを真剣に聞きながら、それぞれの個性が輝いた素敵な作品が完成しました。団員は、「上手にできた！😊」と、とても喜んでいる様子でした🐾

🌸平野さん、ご協力していただいたきありがとうございました。🌸



今回ご協力してくださったお店

サルゥー
Flowers*balloons SALUD

日立市鹿島町 2-13-13

サルゥーとはスペイン語で「乾杯」の意味。皆様の幸運と健康を願って季節のお花をお届けしています。洋花を中心にバルーンを加えたオリジナルの花束やフラワーアレンジメントが人気です。

